

女川原子力発電所第2号機の手動停止の原因と対策について

平成8年1月5日
東北電力株式会社

当社女川原子力発電所第2号機（沸騰水型軽水炉、定格出力：82万5千kW）は、定格出力で運転中のところ、平成7年12月24日18時15分頃、湿分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク（B1）高水位調節弁付近から水の滴下が認められました。

このため、点検、調査を実施することとし、12月24日22時から出力降下を開始し、12月25日11時27分、原子炉を手動停止いたしました。

（12月25日発表済）

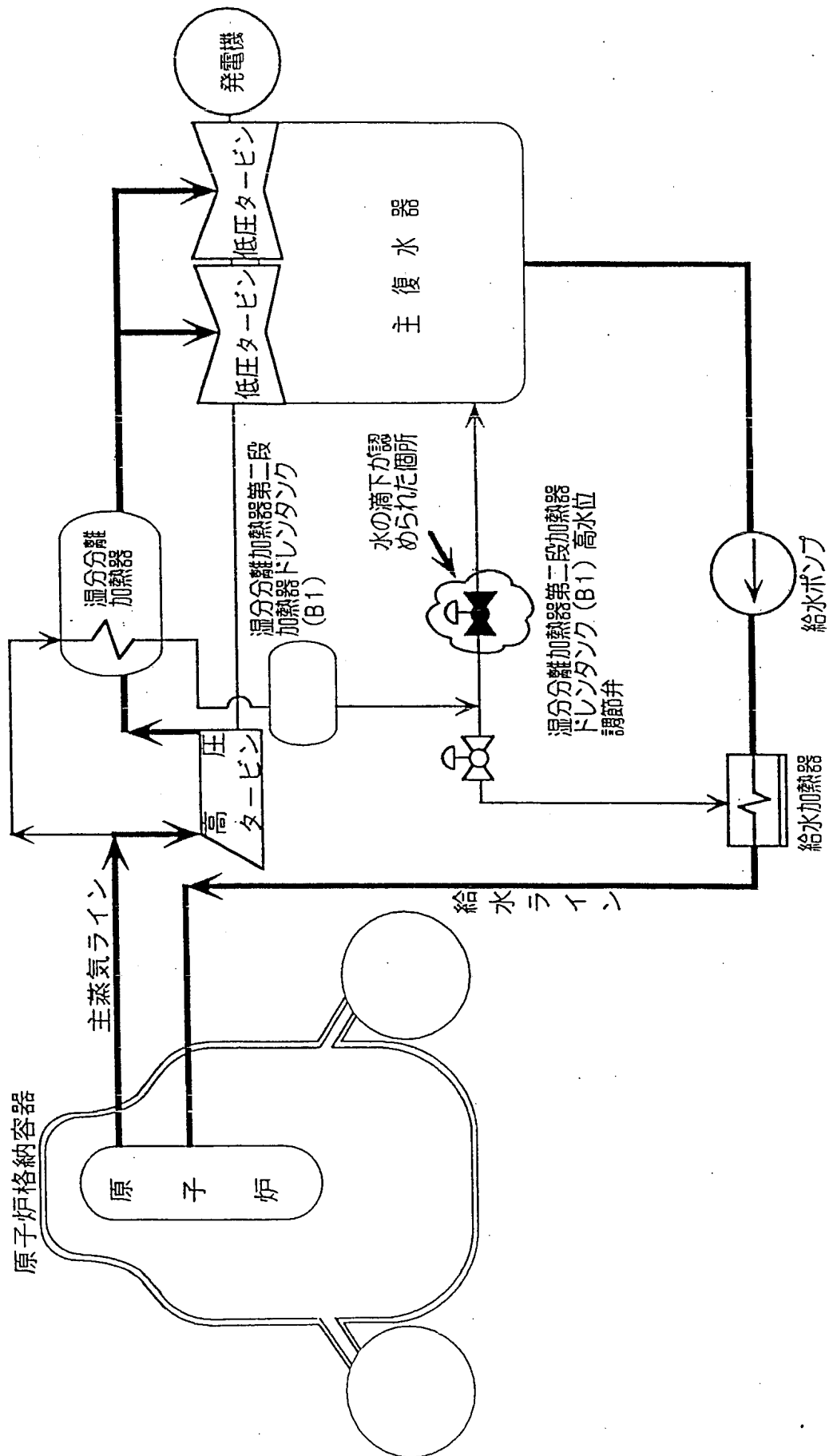
点検の結果、当該弁ボンネットフランジ部からの漏えいが確認されました。

原因調査の結果、漏えいの原因は、当該弁の製作過程においてボンネットフランジ部のボルトの締め付けトルクが不足していたこと等によるものと推定いたしました。

このため、当該ボルトの締め付けトルクを適正とするとともに、ボルトの締め付けトルク管理の徹底を図ることといたしました。

今後、当該弁の復旧および所定の点検を行ったうえで、運転を再開する予定であります。なお、当該弁の類似弁については、分解点検を行い健全性を確認しております。

以上



主配管系統図

調節弁概略図

